部課名	文化スポーツ振興部文化振興課
課の使命	誰もが文化芸術に親しむことができるよう、市民の文化芸術活動の振興や、魅力ある文化芸術とふれあえる環境づくりに取り組みます。 そのための環境整備、鑑賞機会の創出、活動支援、情報発信を行います。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	町田の文化の振興	文化芸術施策を戦略的に推進していくため、「（仮称）町田市文化芸術のまちづくり計画」を策定します。この計画は、身近な町田発の文化芸術を発信することで、市民や来訪者の興味・関心を高め、一人でも多くの人が文化芸術に親しめることを目的としています。 そこで、市内の文化芸術イベント情報を発信する「町田市文化芸術プロモーション」のインスタグラムの内容を向上させ、さらに市民等の文化芸術への興味関心を高めていきます。	①計画策定 ②町田市文化芸術プロモーションのインスタグラムのフォロワー数	①策定完了 ②1,300人								
2	－	市内の子どもが工芸美術に触れる機会の提供	①市内の学校に通う子どもが誰でも工芸美術に親しめる環境整備を目的に、学校と連携して工芸制作プログラムを実施するため、プログラムの共同研究を行うモデル校を選定します。 ②市内小中学校工芸作品展実施に向けた学校教員の意識調査や、焼成窯の有無といった学校設備の調査を行います。	①工芸制作プログラムの共同研究を行うモデル校数 ②市内小中学校工芸作品展に向けた調査を行った学校数	①1校 ②5校								
3	－	工芸美術の魅力の発信	①市民が工芸作品に親しみ、「パークミュージアム」への期待が高まるような講座および関連イベントを企画・開催します。 ②（仮称）国際工芸美術館開館に向けて、市内・周辺の団体と連携した展覧会を実施します。	①工芸美術に関するイベント回数 ②工芸美術の魅力を伝える展覧会回数	①49回 ②2回								
4	－	収蔵作品データの整理および電子化	①（仮称）町田市立国際工芸美術館のホームページ公開に向けて、博物館所蔵作品の写真撮影を行い、キャプション（作品の情報及び解説をまとめたもの）を作成します。さらに、作品データを整理し、電子化します。 ②電子化した博物館所蔵作品の画像およびキャプションを、ホームページでの公開に先がけてインスタグラムで紹介します。	①公開用収蔵作品データの作成数 ②インスタグラムの投稿数	①180件 ②120回								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	事務事業見直し	町田国際交流センターの事業見直し	外国人支援事業の実施主体や担い手について整理し、国際交流センターの行う国際事業の見直しを行います。 まずは外国人住民に対してアンケートを行い、現状や求められている支援内容を改めて把握し、課題を抽出します。	アンケートで意見聴取した数	350人								
6	事務事業見直し	ホストタウン周知事業の見直し	ホストタウン国のさまざまな魅力を市民が自ら発見できるよう、市が周知イベントを実施する形式から、市民等からホストタウン国の魅力を伝える作品を募集する形式とします。募集した作品はイベントスタジオにて展示し、関心のない市民等にも広くホストタウン国を周知できる機会を創出します。展示の際には、ホストタウンの啓発品を配布することでさらなる周知を目指します。	①応募点数 ②作品観覧者数	①50点 ②300人								

部課名	文化スポーツ振興部文化振興課パークミュージアム担当
課の使命	町田市中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館・国際版画美術館等を整備、一体的に運営するプロジェクト「芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト　パークミュージアム」によって、まちに新たな賑わいと交流を生みだすとともに、町田市全体の魅力向上、ブランド価値の向上を目指します。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム「美術エリア」の整備	(仮称)国際工芸美術館について、工事価格の適正化等を図るためのコンストラクションマネジメント業務を実施したうえで、整備工事を実施します。	芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム「美術エリア」整備の進捗状況	(仮称)国際工芸美術館CM業務、整備工事実施								
2	重点事業プラン	芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム実現に向けた機運醸成の取組み	芹ヶ谷公園がパークミュージアムとして町田の多様な文化芸術活動の拠点となり、より多くの人に愛される公園となるように育て、盛り上げていくための取組みを進めます。	イベント実施時の満足度	80%								
3	重点事業プラン／事務事業見直し	「シティプロモーション」に関する取組	新たな財源の確保に向けて、パークミュージアムの実現に関心を持つ民間事業者に対し、企業版ふるさと納税の更なる周知を進めます。	当課の周知活動による、企業版ふるさと納税の寄付件数	1件								

部課名	文化スポーツ振興部スポーツ振興課
課の使命	スポーツをする場所や機会を提供するとともに、スポーツ支援活動を支えることで、市民の健康で明るく豊かな生活を実現します。 また、身近な生活の中でトップレベルのスポーツ等に親しむことができる環境を整え、活力ある社会を構築します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	（仮称）町田木曽山崎パラアリーナ整備	2013年度に策定した「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」において、健康増進関連拠点として位置づけられている旧忠生第六小学校用地に、「（仮称）町田木曽山崎パラアリーナ」を整備するため、2024年度中に事業者の公募・選定を行い、2025年度からの設計・整備工事に繋げます。	事業者の公募及び選定	事業者選定								
2	重点事業プラン	パラスポーツの理解促進・普及啓発	（仮称）町田木曽山崎パラアリーナの整備完了後の活用に向けて、多様なスポーツへの理解を深めるため、パラスポーツ教室や体験会等を実施する等、パラスポーツの関係団体と連携した事業を実施します。	関係団体と連携した事業数	4事業								
3	重点事業プラン	ホームタウンチーム支援	ホームタウンチームを周知するため、チームと連携してホームゲーム情報等の発信やX（旧Twitter）・広報・ホームページ・横断幕掲出等のPR活動を積極的に行います。	広報等周知活動の取組回数	180回								
4	個別計画	スポーツボランティア活動支援	まちだのスポーツを「支える」、市民ボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる機会を幅広く提供するとともに、研修会等を実施することで活動を支援します。	「まちだサポーターズ」延べ活動人数	3,400人								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	ワークライフバランスの実現	週に1回の定時退庁を徹底し、職員間の情報共有・連携の強化に努めることで、一人当たりの月平均時間外勤務時間数を減らします。	一人当たりの月平均時間外勤務時間数	30時間以下/月								
6	事務事業見直し	こどもマラソン大会参加申請の一部電子化	紙での申請受付を行っていたこどもマラソン大会について、電子申請を一部導入することにより、申請者の利便性を向上させるとともに、職員の事務量の削減を図ります。	こどもマラソン大会参加申請の一部電子化	デジタル申請の受付開始								

部課名	文化スポーツ振興部　国際版画美術館
課の使命	・すべての来館者に対して優れた美術作品に触れる機会や創作、発表の場を提供し、美術に親しむことの喜びや感動、やすらぎをもたらします。 ・貴重な文化財である版画作品の収集・保存を通じて、市民の財産としての版画の価値を未来に伝えるとともに、専門性に裏付けられた版画文化に関する良質な情報発信を行います。 ・町田市の文化振興および文化・芸術都市としてのブランドイメージの向上に寄与します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	魅力的な展覧会の開催	より多くの来館者に楽しんでいただくため、「幻想のフラヌール―版画家たちの夢・現・幻」展や「戦間期の版画とモダニズム―1914-1939【仮】」展などの収蔵品を活用した魅力ある企画展を実施します。	企画展・特集展示の観覧者数	93,000人／年								
2	－	SNSによる情報発信	美術を楽しむ人を増やすために、SNSで情報の発信を積極的に行います。	SNS（X及びInstagram）の総フォロワー数	8,500人								
3	事務事業見直し	美術館ホームページの見直し	ホームページ更改後の運用状況について、定期的な解析と、それに基づくホームページの見直しを行います。	ホームページ見直し回数	4回								
4	事務事業見直し	収蔵品データベースシステムの導入に伴う枠組みの構築	多分野にわたる収蔵品を管理するデータベース導入にあたり、必要な項目や表記の統一方法について検討し、入力・編集作業の基本的方針となる枠組みを構築します。	枠組みの構築	枠組みの構築								